

(様式例)

令和元年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・知識分野の向上のため、学び方を授業で取り扱った。その中で、用語集や自習資料などを用い、知識を外部化することと、教科書を用い、どのような点が重要なのかを読み取れるようにする指導を行った。その結果、何をしてよいかわからない生徒が減り、授業に集中して取り組めるようになった。
- ・思考表現分野の向上のため、授業内での共同学習を取り入れた。結果、社会的事項に対し、意欲を高めることが出来た。

(2) 課題

- ・社会的事象に対する関心・意欲・態度は全学年において低い傾向にある。
- ・どの学年も地理的分野における数値が極端に低い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率 (経年比較)

	令和元年度結果	平成30年度結果	平成29年度結果
第1学年	・目標値を大きく下回っている。		
第2学年	・目標値を大きく下回っている。	・目標値を大きく下回っている。 (第1学年時)	
第3学年	・目標値を大きく下回っている。	・目標値を大きく下回っている。 (第2学年時)	・目標値を大きく下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・目標値を下回っている。特に地理的分野に関する関心・意欲が低い。	・目標値を下回っている。特に、我が国の産業に関する思考・判断の力が弱い。	・目標値を下回っている。ただし、目標値と大きな差はないため、資料活用の技能はおおむね平均に近いと思われる。	・目標値を下回っている。特に、地理的分野に関する知識・理解度が低い。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・目標値を上回っている。特に世界の地域構成に関する関心・意欲は高い。	・目標値を上回っている。特に世界の地域構成や環境に関する思考力は高い。	・目標値を上回っている。特に古代に関する資料活用の技能は高い。	・目標値を下回っている。特に中世に関する知識理解が低い。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・目標値を下回っている。特に、日本の諸地域に関する関心・意欲が低い。	・目標値を下回っている。特に、近代の日本と世界に関する思考・判断の力が弱い。	・目標値を下回っている。特に、近世の日本に関する技能の力が弱い。	・目標値を下回っている。特に日本の地域構成に関する知識が低い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・映像教材などICTを取り入れた授業作りを行う。 ・学習内容を自らの事と捉えられるような発問をする。	・話し合い活動を通じて、考え表現する場を設ける。	・資料を用いて読み取る作業を増やす。また統計など数字を根拠に事象を説明する。	・小テストを細かく実施し、反復学習を行う環境をつくる。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・映像教材などICTを取り入れた授業作りを行う。 ・学習内容を自らの事と捉えられるような発問をする。	・話し合い活動を通じて、考え表現する場を設ける。 ・討論を通じて考え、表現する力を養う。	・資料を用いて読み取る作業を増やす。また統計など数字を根拠に事象を説明する。	・ニュースで話題になっている内容と授業の内容を接続し、理解度を高める。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・映像教材などICTを取り入れた授業作りを行う。 ・学習内容を自らの事と捉えられるような発問をする。	・話し合い活動を通じて、考えを発表する場を設ける。 ・討論を通じて考え、表現する力を養う。	・資料を用いて読み取る作業を増やす。また統計など数字を根拠に事象を説明する。	・ニュースで話題になっている内容と授業の内容を接続し、理解度を高める。